

2024年4月7日

「命を受けるため」

ヨハネによる福音書 20:24-31

早川 真牧師

今朝の箇所には、復活の主が弟子たちの前に二度目に現れた時のことが記されています。この時弟子たちはユダヤ人たちの迫害を恐れて戸に鍵をかけていました。しかしそのような彼らにイエスは「あなたがたに平和があるように」と語られました。そしてイエスは、復活を疑ったトマスに納得するまでご自分を現してくださいました。そのことによってトマスはイエスの復活に対する確信が与えられ個人的な信仰を告白するに至ったのでした。

ここでイエスが言われている、見ないのに信じる人とは、つまり聞いて信じる人のことです。私たちは実際にイエスを見たことはありません。しかし信じています。それはキリストの言葉を語る者がいて、そのキリストの言葉を聞いて信じる幸いな者がいたからです。毎週の礼拝によって、主は私たちに「あなたがたに平和があるように」と語りかけてくださっています。それを聞くのは牧師の説教を通してかもしれません。信徒の交わりを通してかもしれません。しかしどのような形であれ、それは復活の主ご自身が語られたのだということを私たちは今朝新たに信仰をもって受け止めたいと思います。

私たちが主の復活を喜び祝うのは、私たちもまた主に繋がる者として復活の命に与る恵みが与えられているからです。私たちがこの命を受けるため死から復活してくださった主イエス・キリストに、私たちもまた「わたしの神、私の主よ」と信仰を告白しつつ、一人でも多くの方がこの命を受けることができるよう、新しい年度も主と共に、主に導かれて歩んでまいりたいと思います。